



# あけましておめでとうございます

今年もよろしくお願ひいたします。

昨年は4年振りにコロナから解放されたかな? と思いきや、今度は“戦争の色”が地球上に広がる連日のニュースでした。「考える力」を持つ人間のやるべきことなのか? 「いいかげんに終止符が打てないの!?’と、ひとりつぶやいていました。

そんな折12月21日、M中学校の先生から「人権と平和教育」について2年生全員にお話しを、との依頼があり、出かけて参りました。私自身の戦争体験も含め、ノンフィクションの絵本を中心にプログラムを立て、まず『わたしのいもうと』(松谷みよこ文、味戸ケイコ絵)の朗読をし、松谷みよこさんのあとがきも紹介しました。

**“自分より弱いものをいじめる。自分とおなじでないものを許さない。そうした差別こそが戦争へつながる”**

## こどもたちと 平和を感じられる年に…



「おなじでない」から敵対心を持ち更に広がっていく、人間の愚かさや悲しさについて問題提起をしました。

次に

『へいわってどんなこと?』(浜田桂子 作)

『わたしのせいじゃないせきにんについて』

(レイフ・クリスチャンソン 文、にもんじまさあき 訳、ディック・ステンペリ 絵) を読んで

“なぜ戦争は起こるの?”について考えてもらい、

最後に『へいわとせんそう』(たにかわしゅんたろう 文、Noritake 絵)、『もっとおおきな たいほうを』(二見正直さく) を読み、

「ほんとうの平和を考える」材料にしてほしい、と願ひを託しました。

2024年は、子どもたちと一緒に少しでも平和を感じられる年にしたいです。(橋村孝子)

(橋村孝子)

### お知らせ

2024 1

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
	休業日	休業日	休業日	定休日		
7	8	9	10	11	12	13
定休日	紙芝居ピッポの会ミニ講座	大人のための絵本の時間		定休日		おはなし会
14	15	16	17	18	19	20
定休日		おはなし会		定休日		
21	22	23	24	25	26	27
定休日				定休日		おはなし会
28	29	30	31			
定休日						



### おはなし会

13日(土) 14:00~

16日(火) 11:00~

27日(土) 14:00~



### 大人のための絵本の時間

9日(火) 10:00~

大人も絵本を楽しみたい!

### 紙芝居ピッポの会ミニ講座

8日(月) 14:00~

※ホームページでもぶっくだよりが読めます。「みやがわ書店」で検索するか下のQRコードで



えほんと童話の店

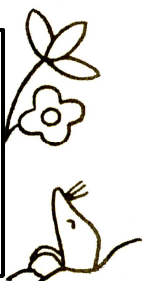
## みやがわ書店

〒519-0505 三重県伊勢市小俣町本町163(JR宮川駅前)

●電話・FAX 0596-22-4317 ●Eメール ehonbaba@gmail.com

●定休日 毎週日曜日・木曜日 ●営業時間 AM10:00~PM6:00

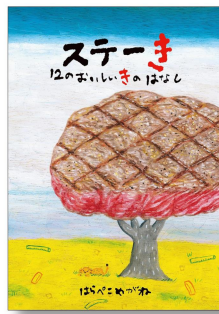
●ホームページ <https://www.miyagawaehon.com>





「食べものはどこからきたの？」  
作 ユリア・デュア  
訳 木本 栄  
日本語版監修 藤原 辰史  
ほるぷ出版 3,190円

パンや牛乳、肉、たまご…何でもすぐには買えるけど、どこからやってきたのだろう。どのように作られてきたのか、絵でわかりやすく。



「ステーキ 12の美味しい木のぼし」  
はらぺこめがね  
小学館 1,595円

1年12ヶ月、それぞれの月に美味しい木があるんです。表紙は1月の木。じゅうじゅうじゅうわり、おいしそう!

新刊紹介



「ごちそうごよみ」  
谷山彩子  
小学館 1,760円

四季折々に合わせた特別なお料理。そこにはいろいろな意味が込められています。ごちそうでたどる1年間の行事。



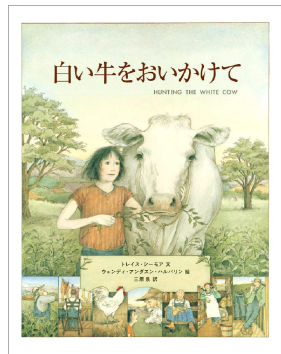
「リパと ミツバチの庭」  
福井さとこ 作・絵  
のら書店 1,650円

庭師のリパはミツバチを育てているミロと仲良くなり、一緒にミツバチのお世話をし…ミツバチがくれた自然のたべもの!



「とびません」  
大塚健太 作  
柴田ケイコ 絵  
パイ インターナショナル 1,485円

空を飛べないペンギンは、やはり空を飛びたいのでしょうか…飛べないのだけど、もしかしたら!!



「白い牛をおいかけて」  
トレイス・シーモア 文  
ウェンディ・アンドスン・ハルパリン 絵  
三原 泉 訳  
ゴブリン書房 1,650円

「おおきなかぶ」のように騒動が広がっていきます。てんやわんやの人間たちと、神秘的な白い牛。柔らかな色調の絵が素敵です。



「ふゆのあとにははるがきます」  
文・石井睦美  
絵・あべ弘士  
アリス館 1,650円

カラフルな絵の中に雪の白さが冴えます。そんな冬の森で穏やかに人や動物たちが過ごしています。やがて春のしるしが現れます。

大人コース



「水はうたいます」  
詩 まど・みちお  
絵 nakaban  
理論社 2,090円

「ぞうさん」「くまさん」「やぎさんゆうびん」など、平和で優しい詩や童謡で知られるまどさん。そんなまどさんも、幼少期には両親と離れて暮らす孤独を味わいました。召集されて戦地に赴く経験もされています。戦時の混乱中に書いてしまった戦争協力詩について生涯悔やみ、詫び続けながら、生きることの不思議、生きることの喜びを平易な言葉で伝え続けました。「水はうたいます」、この詩はまどさん自身と重なる気がしました。(さつき)

身の回りの水の音って、どんな音をしているのでしょうか? 川の流れ、雨の音…絵本をめくると、まどさん独特の水の音の表現が続きます。水は様々な姿になって、うたいながら地球を駆け巡っているのです。読後、大きな地球の営みを感じます。

新刊紙芝居



「ありがとう おったら…」  
江波ノッコ 脚本・絵  
童心社 1,540円 8場面

紙を折ったら何になるかな? おりがみ遊びの楽しさをどうぞ!